

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 6 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【アジアの都市関係者に南区総合庁舎の地中熱利用を紹介する様子】

環境省主催「低炭素社会の構築に向けた都市間連携セミナー」を横浜市で開催！横浜市の環境に配慮した取組を紹介

10月25日と26日に、環境省主催「低炭素社会の構築に向けた都市間連携セミナー」がパシフィコ横浜等で開催され、環境省の都市間連携事業に取り組む国内外の自治体と一緒に会し、取組状況を発表するとともに、課題や今後の方向性について議論しました。



横浜市からは、インドネシア国バタム市(国際局)およびタイ港湾庁(港湾局)との事業化調査の取組状況等を発表しました。

また、来日したアジア等の都市関係者に対して横浜市地球温暖化対策実行計画(温暖化対策統括本部)、ハマウィングでの水素エネルギー実証事業(温暖化対策統括本部)、横浜市立大学附属市民総合医療センターと南区総合庁舎間のエネルギー連携事業(温暖化対策統括本部、建築局、南区)について紹介し、参加者間において低炭素都市づくりに向けた意見交換を行いました。

第11回アジア3R自治体間ネットワーク会合を横浜市で開催！フィリピン・セブ州マダウエ市の廃棄物管理担当者と協議

10月23日及び24日、一般財団法人日本環境衛生センター主催の「第11回アジア3R自治体間ネットワーク会合」が横浜市で開催されました。本会合には、フィリピン国セブ州・マダウエ市、ダバオ市、ミャンマー国ヤンゴン市、ベトナム国ハイフォン市といったアジアの自治体が集まり、3R促進のための取組について発表を行いました。



この会合の期間中、マダウエ市廃棄物管理担当者がY-PORTセンター公民連携オフィスを訪問し、横浜市資源循環局・国際局が、マダウエ市の廃棄物管理について協議を行いました。



「フィリピン国メトロセブ都市開発フォーラム2018」を開催

横浜市は2012年にセブ市との技術協力に関する覚書を交わし、メトロセブの都市圏開発マスタープランである「メガセブ



ロードマップ2050」の策定支援を行いました。同ロードマップの実現に向けて、10月30日に、横浜市とメトロセブ開発調整委員会(MCDCB)が「メトロセブ都市開発フォーラム2018」を開催しました。



フォーラムには、メトロセブ側から都市圏を構成する地方自治体や現地企業が、横浜側から本市関係局、市内企業等11社などの総勢約120名が参加し、下水処理や廃棄物管理、省エネ等の分野で、都市課題解決に向けた議論が行われるとともに、横浜市内企業が有する技術やサービスとのインフラビジネス・マッチングを行いました。

